

▶執筆 人権教育課（市役所内線 4012）

あなたのおうちのお雑煮は？

私は年末年始を妻の実家で過ごします。今では義母の作るお雑煮が私のお正月の味になっていますが、初めて出されたときは、これまで食べてきたお雑煮との違いに、少し驚いたことを覚えています。

お雑煮は地域によって汁の味付け、餅の形、具材が異なる上に、各家庭の伝承もあり、実に多様です。皆さんも同じような経験をしたことがあるのではないのでしょうか。

私たちは「多文化共生」という言葉を聞くと、外国人や外国にルーツのある人たちと、互いの文化や考え方を尊重し、共に生きていくことを連想します。実際に、このような文脈で使われることが多いですが、文化が異なるのは外国人や外国にルーツのある人たちに限ったことではないように感じます。例えば、日本人同士でも食事や言葉（方言）は地域によって異なりますし、同じ屋根の下で暮らしていても同じとは言



い切れません。

このように考えてみると、私たちは多様な文化の中で生活しており、互いが心地よく生活できるように自然に相手を思いやり、違いを認め合いながら生きていると言えそうです。

さて、食べることは文化の違いを理解し、互いを尊重する重要なきっかけになるようです。妻の両親に初めて手料理を振る舞ってもらったとき、一粒残さず平らげ、非常に喜んでくれたことを覚えています。

皆さんもこのお正月に食を通じて、「多文化共生」してはどうでしょうか。

人権啓発DVDなどの貸し出し（無料）については人権教育課ホームページへ▶



鈕の穴のずれ



内向花文鏡（市指定文化財）



この内向花文鏡は、日本へそ公園内にあった滝ノ上20号墳という方墳（四角形の古墳）から出土した銅鏡です。その模様から雲雷文帯八連弧文鏡とも言います。滝ノ上20号墳は、古墳時代前期の4世紀代に築造されたと考えられます。この鏡は中国の後漢という国で1世紀中期～後期にかけて造られたと考えられ、海を渡り日本に運ばれてきた舶載鏡です。長年の間、大切に守られ祭られていた鏡が、副葬品として古墳に納められました。鏡にあるつまみ（鈕）にある紐を通す穴は長い年月により、摩耗してずれが生じています。郷土資料館で展示していますので、ぜひご覧下さい。

▼問合せ 郷土資料館（☎23-5992）

内向花文鏡（雲雷文帯八連弧文鏡）（上比延町）

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪



市役所で働きませんか

UIターン大歓迎 4月採用正規職員募集



公務員試験不要のSPI試験導入

4月に採用する正規職員を募集します。あなたの知識と経験をまちづくりに生かしませんか。社会人経験者の応募も受け付けています。

▶募集要項・要件

職種	予定人員	年齢要件 (R6.4.1現在)
一般事務職	5人	18～24歳
一般事務職 (社会人経験者)		25～44歳
土木職	3人	18～24歳 (※)
土木職 (社会人経験者)		25～44歳

(※) 大学院修了者は30歳まで。詳細は市ホームページで。

▶受付期間

1月5日（月）～19日（月）／必着

▶申込方法

所定の受験申込書などを記入の上、下記へ持参または郵送してください。様式は市ホームページからダウンロードできます。また、郵送による請求もできます。

▶試験

・1次＝受験申込書による書面審査
・2次＝1月29日（木）～2月8日（日）にSPI試験／2月11日（水・祝）に面接試験

▶申込み・問合せ

☎677-8511 西脇市下戸田128-1
西脇市総務課（市役所内線3048）

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー
SDGsを“身近で自分ごと”なものに
～市民提案型まちづくり事業採択団体の紹介～

「ひらくSDGsラボ」は、持続可能な暮らしについて楽しく学び、交流の場をつくることで、SDGsを難しいことなく、「身近な自分ごと」として感じてもらう機会をつくろうと活動しています。

10月に開催された「第1回ひらくSDGsラボマルシェ」では、ごみ拾い、播州織アップサイクルワークショップ、ペットボトルキャップ回収などを行い、参加者が楽しくSDGsを学び、体験する機会となりました。

3月1日（日）、20日（金・祝）にも持続可能な暮らしについて学び、交流できるイベントを企画しています。ぜひ遊びに来てください。



西脇の自然 622

ミヤマシキミ

みかん科



常緑低木の広葉樹で樹高は50～150cmほど。オスとメスの木が別で、花は良い香りがし、オスの株の方がよく香ります。「山中（深山）に生えて、枝葉がシキミに似る」のでこの名前が付けました。シキミと同じく有毒です。

お正月の縁起物「マンリョウ（万両）」よりも実が大きいので、「オクリョウ（億両）」と呼ばれ縁起物として飾られたり、庭木にされたりすることもあります。あまり一般的ではなく、ヨーロッパで品種改良されたスキミアと呼ばれる品種の方が、花や実を楽しむためによく栽培されているようです。

市内では主に標高の高い山の上に生えており、本種を見ると「結構登ったんやなあ」とちょっと特別感を感じます。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】